

グループホーム



ちぐさの家 空室 1

サービス付き 高齢者向け住宅



みつわの郷 空室 2



わかばの家 空室 2



みどりの家 空室 0



こもれびの郷 空室 2



みのりの郷 空室 2



はなみの家 空室 2



ものいの家 空室 1

デイサービス



なごみの郷 空室 2



きくまの家 空室 1



さくらの家 空室 0



デイサービス大日 空 3

マウントバード施設紹介・空室状況

開設主体：株式会社マウントバード		千葉県花見川区千種町231番地		TEL：043-216-1600
施設名	定員	空室	住所	施設電話
グループホーム ちぐさの家	18	1	千葉県花見川区千種町150-1	043-216-0860
グループホーム わかばの家	27	2	千葉県若葉区東寺山町399-1	043-290-8177
グループホーム みどりの家	27	0	千葉県緑区誉田2-11-105	043-292-4907
グループホーム はなみの家	18	2	千葉県花見川区大日町1386-2	043-309-6545
グループホーム ものいの家	18	1	四街道市物井1806-12	043-421-2030
グループホーム きくまの家	18	1	市原市菊間2394-2	0436-63-7235
グループホーム さくらの家	18	0	佐倉市西志津7-14-3	043-235-8071
サービス付き高齢者住宅 みつわの郷	11	2	千葉県若葉区みつわ台1-29-1	043-308-8002
サービス付き高齢者住宅 こもれびの郷	12	2	千葉県若葉区みつわ台1-28-16	043-207-0361
サービス付き高齢者住宅 みのりの郷	15	2	千葉県花見川区千種町154-3	043-286-6555
サービス付き高齢者住宅 なごみの郷	15	2	千葉県花見川区千種町194-1	043-310-3968
デイサービス 大日(通常規模型通所介護)	20	3	千葉県花見川区大日町1386-1	043-306-8068

(空室状況：2023年4月末現在) ■お問い合わせ 090-6159-5863 (山本)



マウントバード便り

May2023 <Vol.28>

5月
May

『自立と愛』を基本理念とするマウントバードですが、今回は“グループホームきくまの家”のこだわりを持った自立支援を紹介いたします。日常において、その人が持っている能力を最大限に活かせるよう“できること”の継続を行っています。それぞれの方が持っている得意分野……例えば、旬の食材のフキや筍の扱いや調理法において、若輩者は年配者に敵いません。料理に限りませんが、職員は自立をサポートする一方で、こうした生活術を教えてもらい、お互いに支え合っているのです。

目指すは“日常!!”～グループホームきくまの家のこだわり



ふつうが嬉しい“きくま”の一日♪

四月七日の金曜日、きくまの家では入居者様を主体に献立決めから買い物、調理を行い、食事を楽しみました!! 買い物担当は二人。かつて行き慣れたスーパーマーケットに出向いて材料の買い出しからスタートしました。



かつて利用していたスーパーにきました♪



きくまの家
日常のひとつ

目指すは“日常!!” ~グループホームきくまの家のこだわりです

グループホーム きくまの家
市原市菊間2394-2
TEL: 0436-63-7235
Mail: kikuma@mount-bird.jp



“日常”には入居者さんと職員との「支え愛」があります

グループホームきくまの家は、2020年(令和2年)4月1日(水)にオープン、この4月で三周年を迎えました。
「自立と愛」という会社の理念の下、一人ひとりの生活の「気持ち」と「動き」を専門職として気付き、有する能力を最大限に活かすことができる環境づくりや調整を行い、“できること”の継続を実践します。

また、買い物、お祭り、清掃活動などで「地域との関わり」を持ち続け、一人の住民として地元へ貢献していくことをサポートします。日常生活では暖かい日には洗車をしたり、室内ではミシンで雑巾を作ったり、お昼ご飯を作ったり……何気ない生活の継続をさりげなく支え、頼ります。

滝澤ホーム長

2023年4月7日 買い物から始まる“今日のワクワクお献立”

料理活動の效能いろいろ

献立立案や材料の仕入れに始まり、料理を作ってから片付けるまで一通りの流れが『料理活動』に含まれます。その工程・作業を入居者の方々の能力に応じた“役割分担”が可能であり、完成する料理が目に見えるためそれぞれの達成感を得やすく、何よりも食べる楽しみが待っているのが『料理活動』の魅力です。

買い物で運動！脳トレ!!、達成感♪

ふだん何気なく行っている『買い物』ですが、さまざまな動作が入っています。店内を歩き回りながら商品をカゴに入れて袋詰めする身体的な動作と、必要なものを思い出しながら商品を選び、さらに計算も行うという思考的な処理を同時に行うことが求められます。サポートする職員とのコミュニケーションが認知機能にもいい影響を与え、と言われています。
気を付けることは、職員主導ではなく、まずは入居者様の主体性を引き立てながらサポートすること。過去の繰り返されたなじみのある作業がよみがえり“自分でできた！”という達成感につながります。

※参考文献：https://recrea.jp/reading/



ちょっと遠出ですが、ご本人が昔に行っていて通い慣れたスーパーで買い物しました！

仕入れ完了！やったね!!～フー

なじみのある調理で自立した日常を

かつてなじんだ調理で生活を生き生きと!!

きくまの家では、入居者の方々が食事の準備に参加しています。野菜を茹でたり、刻んだり……手慣れた工程に職員が学習させていただくこともあります。

最近、料理を作ることが脳の前頭前野の働きを活性化させることが明らかになってきました。



時短のピーラー、こりゃあ便利だ♪

お米とぎやすりこ木技、餃子包みに里芋の扱い…そりゃ名人に敵いません。きくまには、そんな名人、達人のお世話になっていきます～感謝!!



食事はみんなと一緒に、美味しく、楽しく、健康に!!

買い物した人も料理した人も食べる人もみんな一緒に楽しくいただきます♡



「食べることは、美味しかった」「お腹がいっぱい」という満足感が得られると、元気がなる」とも、さるくみならず、明るく、元気で、一緒に楽しむことができます。



買い物したからか、余計美味しく感じるような♡



自分にも「馳走さま♡



やればできるんだあ 俺の傑作カレー♡